

Declaration!

わたしの「取り組み宣言」

環境をより良くするため、私たちにできることは何でしょうか。市民や市に関わる皆さんから、未来へつながる一歩となる取り組みや想いを聞きました。

4年生のとき、「アースキッズプロジェクト」の授業で、環境問題について学び、地球温暖化が進んでいることを知りました。

世界で困っている人たちのために、電気をこまめに消すことや、水を出しっぱなしにしないことに気を付けています。学校でも、友だちに声をかけながら一緒に取り組んでいます。

小さなことでも、みんなで協力して地球を守っていきたいです。

加茂小学校 5年生 **前田 理秀さん**



自動車用エンジンバルブを製作する当社では、2030年までにCO2排出量を2013年度比で50%削減する目標を掲げ、カーボンニュートラルに取り組んでいます。工場屋根への太陽光パネル設置など再生可能エネルギーの導入や、エネルギー効率の良い設備への更新を進めています。また、工場内の電力使用をエリアごとに見える化し、従業員への意識向上にも役立てています。

皆さんも家庭でできる省エネに取り組み、地球温暖化防止につなげていきましょう。

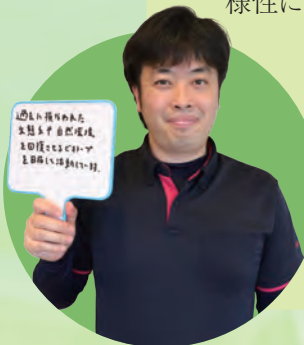
フジオーゼックス株式会社 **青木 智夫さん**



農業メーカーである当社では、「いのちと自然を守り育てる」のテーマの下、「生物多様性への貢献」をマテリアリティ(重要課題)の一つに設定し、周辺地域の生物多様性に配慮した事業活動を行っています。

令和7年3月に創設した「クミカ レフュジア菊川」は、生物多様性の保全や自然環境の回復を目指すビオトープです。現在は、地域の子どもたちが自然や生物多様性、食料の安全保障について学べる場として整備を進めています。皆さんにいち早く施設を解放できるよう、今後も取り組みを進めていきます。

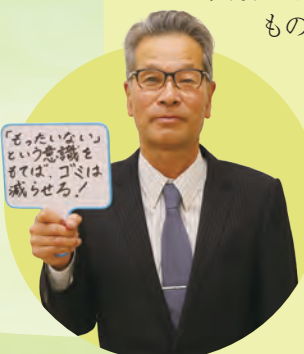
クミアイ化学工業株式会社 **横地 俊輔さん**



自治会ごとにごみステーションを管理し、分別・リサイクルに取り組んでいます。転入者にも分かりやすく、ごみの出し方を丁寧に伝えています。自治会活動は1年ごとですが、子どもたちへきれいなまちを引き継ぐ思いで続けています。

ものがあふれる今こそ「もったいない」の意識を大切に、必要な分だけ購入し再利用できるものを選ぶなど、一人ひとりの行動が住みやすさにつながります。ごみをきっかけに、地域が支え合い、つながり合う社会を目指しましょう。

菊川市連合自治会 会長 **渡邊 朗由さん**



岳洋中学校で環境委員長を務めています。本校では、環境委員を中心に全校で古紙回収に取り組んでいます。集まった古紙はリサイクル業者が買い取り、その売上金で校内の備品を購入しています。

私自身も、要らなくなったプリントで裏面が白紙のものは、メモ帳として使って再利用しています。

それぞれが環境のためにできることに取り組むことで、多くの人にとって住みやすいまちになってほしいです。

岳洋中学校 3年生 **佐俣 希歩さん**

